

## 会場設計に係る留意事項

- 1.本業務は、サッカー、バスケットボール、相撲の3競技会場等の設計が必要であり、各競技の練習会場も設けることとなっている。また、本大会前年(令和7年)に開催される競技別リハーサル大会(サッカー・相撲の2競技)の競技会場等も必要であり、会場の特性を踏まえながら転換を見据えた設計を行っていただきたい。
- 2.実行委員会で作成した、各会場の会場レイアウト案を参照し、会場レイアウト等の設計を行っていただきたい。
- 3.各競技の特性を踏まえた選手控室、各諸室、待機場所、実施本部として使用するスペースの確保への対応方を示していただきたい。
- 4.競技会を開催する際に必要となる様々な諸室等を効率的かつ効果的に設置する案や動線等を示していただきたい。
- 5.一般観覧者の動線が可能な限り ID コントロールエリアと交わらないよう設計していただきたい。
- 6.過去の競技会来場者数から、想定される観客数を算出し、常設又は仮設の観客席を上回る観客数となった場合の対応方策及び入場規制が必要となった場合の対応方を示していただきたい。
- 7.計画輸送(監督・選手・役員等)及び一般観覧者の乗降場所、動線等を示していただきたい。(大型バス、シャトルバス、タクシー等)
- 8.行幸啓を想定した諸室の配置と適切な導線を示していただきたい。
- 9.競技別リハーサル大会の競技会場、練習会場において必要となる物品や消耗品等については、可能な限り本大会においても利用し、経費削減に努めて頂きたい。
- 10.台風等の突発的な荒天等への対応方を示していただきたい。
- 11.過去に請け負った国体等競技会場の設計、会場設営の経験から、予想される留意事項があれば、考えられる対応方策と併せて示していただきたい。